



鶴ヶ島市聴力障害者会の活動 (障害者交流フェスティバル)

コミュニケーション支援及び手話言語に関する条例制定へ向けて

障害のある人となない人が、お互いを理解していくためには、よりよいコミュニケーションをとれる環境が必要です。誰もが住みやすい共生社会をつくっていくために、条例制定は、その第一歩となることが期待されています。

市とともに生きるやさしさのあるまちを目指す障害者のコミュニケーション支援条例」及び「鶴ヶ島市手話言語条例」の制定について、「障害者のコミュニケーション支援に関する検討会」に参加されている方々から話を伺いました。

● **鶴ヶ島市視覚障がい者の会アインネットさん**
デジタル技術が進歩していますが、視覚障害者たちはスマートフォンや駅での発券機、銀行のATMの操作などのタッチパネルが使えずに困っています。外出の支援やスマートフォンなどの操作を教えられる人材が必要ですが、支援するスタッフも高齢化し、減少していることが心配です。



● 鶴ヶ島市聴力障害者会さん

日本では、2011年に障害者基本法が改正され、言語に手話を含む、と条文の一節に盛り込まれました。

● **高次脳機能障害を支える会こもれびさん**
高次脳機能障害という障害があるということが、まだ知られていない人が多いです。例えば、交通事故などで脳に損傷を受けたことで、身体が回復しても生活に支障が生じ、家族や当事者も全くわからないまま、社会復帰することにも難しく苦しんでいます。当事者だけでなく、家族全体を支援していただきたいです。

● **知的障害を理解しよう! Den & Denさん**
養育者も病気や高齢化で心配を抱えています。一人で外出する際の法的サービスや、成人を迎えた知的障害者が市のイベントなどに参加できる支援体制が必要ですが、また、知的障害の人と一緒に活動してくれる人を養成するボランティア講座があればと思います。

● 皆さんの想いから

5年度に第4期障害者支援計画の見直しが行われます。条例の趣旨を踏まえた計画や事業が展開していくことを願います。

● 参加したメンバーの方々

一 児島成子さん、山田茂さん、長岡保さん、鈴木正弘さん、小出真一郎さん、大澤重敏さん、中里由架利さん、草嶋克枝さん、五月女芳子さん

編集後記

ことのほか寒い日が続いた冬も過ぎ去り、花々たちの出番がやって来りました。そして、ピカピカの一年生に出会えることが楽しみです。

4月に市議会議員選挙が行われました。鶴ヶ島市議会は、新しい議員により、市の将来に向け、市民の皆さんが「この街が大好き。この街に暮らして良かった。」と思えるように、福祉、教育、道路整備などのまちづくりを進めます。ご意見ご要望など気軽にお寄せください。

今回の市議会だよりは、「令和5年度予算」について、各議員による注目を掲載しました。(石塚)

(広報広聴委員)

- 委員長 大野洋子
- 副委員長 内野嘉広
- 委員 松尾孝彦
- 委員 小林ひとみ
- 委員 太田忠芳
- 委員 石塚節子
- 委員 持田靖明
- 委員 杉田恭之